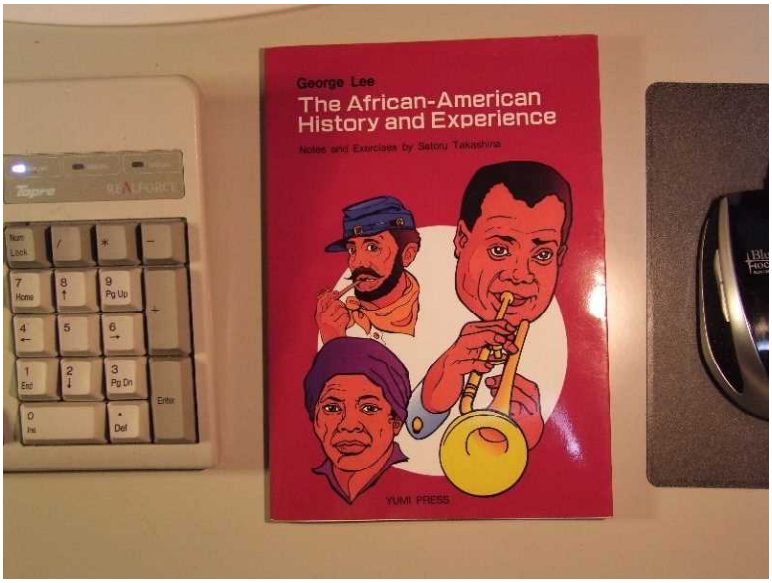
The African-American History and Experience

written by George Lee

Noted by Satoru Takashima

Published by YUMI PRESS



Content 2: SLAVE REVOLTS INTERFERE WITH MIDDLE PASSAGE

奴隷の反乱中間航路を妨害

今日のテーマは、奴隷がどのような経路で運ばれ、奴隷船はどのような状態だったかです。いかに白人という人種は、cruel（冷酷）、arrogant（傲慢）、heartless（無情）、shameless（無恥）かが、この章を読むと分かります。

奴隷船の辿る航路は、布、銃、ラムをボストンからアフリカへ運びます。アフリカで奴隷を積んで、西インド諸島やアメリカ南部に向かいます。そこで奴隷という積荷を引き渡し、そこで調達した砂糖や綿をボストンに持ち帰るという3つの航路で成り立っています。奴隷が乗船するのは、2番目の航路で”中間航路”と呼ばれます。

奴隷は、デッキと船倉の間にある中甲板（高さ3フィート10インチ、幅16インチ、長さ5.5インチ）に身動きできないほど詰め込まれます。食事は、糊のような流動食を柄杓で与えられ、常に飢えに悩まされます。

こういう状態で航海させられるために、船上で自殺性鬱病にかかり、自分から飢餓状

態にして死ぬ者や、海に身を投じて自殺する者もいました。港に着く前の数日間だけは、食事らしいものを与えられ元気を回復したかのように粧い、奴隷が高い値段で売れるように姑息な手段も白人は用いました。

奴隷が船上で乗組員より優勢だと判断すると、抵抗し反乱を起こすこともありました。

英語に関する問題と話題：

マイクロソフトのワードで英文チェックをしたところ、今回はミスは指摘されませんでした。ヒゲ・じーちゃんが、読んでいて興味を持った英語表現を紹介します。

１．Given barely enough food to survive, and **with all dignity removed**, you spend weeks wondering when you will die.

生き延びるだけの食物をかろうじて与えられるだけで、矜持を踏みにじられ、何時死ぬのだろうかと不安を抱きながら数週間を過ごします。

with all dignity removed と言う英語表現は、航空機の整備取扱説明書に頻出していました。with + 名詞 + 動詞の過去分詞というのが典型的な構文でした。付帯状況を表す構文です。

Install nuts **with cover removed**.　**カバーを取り外した状態で**、ナットを取り付ける。

産業／技術英語では、簡潔平明で誤解の生じない文章を書くことを要求されます。以下の例（アイピーシー発行、富井　篤著、英語らしい英語を書くための前置詞の研究からの引用）を参照してください。

Set the AUTO-MANU selector switch in the MANU position, and depress the JOG switch.（ヒゲ・じーちゃんの訳：AUTO-MANU 切り替えスイッチをMANU位置に入れて、JOG スイッチを押し込む。）

上記の英文を以下のように書き直します。

With the AUTO-MANU selector switch set in the MANU position, depress the JOG switch. （ヒゲ・じーちゃんの訳：AUTO-MANU 切り替えスイッチを MANU 位置に入れた状態で、JOG スイッチを押し下げる。）

もう1例だけ紹介しましょう。（アイピーシー発行、井上　章著、誤訳で学ぶ技術の英語より引用）

This transmission is used with the gear partially submerged in an oil sump.　（著者の訳：トランスミッションは、ギヤを一部、油だまりに浸して使用される。ヒゲ・じーちゃんが翻訳に携わっていた時の仕様に従って訳すと、”トランスミッションは、一部油だまりに浸した状態で使用する。”となります。）

２．You are crowded in the **'tween** decks section between the deck and the hold.

甲板間貨物倉に奴隷が身動きできないほど詰め込まれています。

'tween は、between の略語と辞書にあります。'tween　decks　section は、字句通りに解釈すれば、デッキとデッキの間の部分ですが、甲板間船倉または甲板間貨物倉というくらいの訳でしょうか。

今日の閑話：

先回″postulatum″という言葉に対して、どうして独和辞典を引くことを思いついたかについては、コラムのホームページで後日紹介しますと書きました。下記URLに詳述しましたのでアクセスしてください。
http://higejihchan.my.coocan.jp/Etymology.pdf

Food and water rations are increased, so the slaves will look healthier and bring a better price.　（食物と水の割り当てが増えて、奴隷は見た目に活気を取り戻し、よりよい価格が付くようになります。）

To prevent slaves from starving themselves, a funnel is heated and pressed against their lips; when the lips open, food is poured in.　（奴隷が自分で飢え死にしようとするのを妨ぐために、漏斗が加熱され、奴隷の唇に押しつけられます。熱くてたまらず唇を開けたとき、食物を流し込みます。）

白人は、好き勝手に聖書を解釈して、神は元々人種を分けてお造りになり、それぞれの人種を異なる大陸に棲み分けるようにされたとして、白人種が他人種との結婚も禁止する、人種隔離法を制定する、挙げ句の果てに白人優越論を展開しました。

その身勝手な考えが、上記の引用文に傲慢無恥な白人の人間とも思えない行為として現れています。

日本のリニアモーターカー〈磁気浮上式列車〉の技術が、アメリカに無償供与されることになりました。無償供与するように日本政府を恫喝して、そのようにさせたとヒゲ・じーちゃんは思っています。

F15 などのジェット戦闘機を日本はライセンス生産しています。そのマニュアルは、はじめから日本語で作成することも出来るのではないかと思いますが、英文のマニュアルを一般の日本人が想像も出来ないような高額な金額を払って入手させられているのです。その英文マニュアルを日本文に翻訳しているのです。

リニアモーターカーの技術を何故アメリカに無償供与しなければならないのか、全く理解に苦しみます。